

公告第677号

令和7年8月28日

音羽健康保険組合
理事長 金丸 徳雄



令和6年度の決算の概要についてお知らせいたします。

- (1) 令和6年度の決算と今後の見通しについて
- (2) 令和6年度の決算についての詳細
- (3) 令和6年度に行った主な保健事業について

令和6年度の決算と今後の見通しについて

2025年8月28日

音羽健康保険組合

理事長

金丸徳雄

被保険者および被扶養者、そして事業会社のみなさまには、平素より当組合の事業運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和6年度の決算報告をするにあたり、健康保険組合全体の情勢についてご説明いたします。健康保険組合を取り巻く情勢は、ここ数年、かなり厳しい状況が続いていくなかで、音羽健康保険組合では、日々の予算運営に真摯に取り組んでいきます。そして、被保険者を始めとする加入者の方々に向けて、よりよい保険事業をご提供してきたいと考えております。

健康保険組合全体

令和6年度の決算見込みと今後の財政見通し

健保組合全体の令和5年度の決算見込みは1,367億円の赤字で、収支は前年に比べてかなり悪化しています

- ・全体の5割を超える726組合が赤字を計上
- ・健保組合全体の保険料収入は前年度比プラス2.7%の2,295億円増加
- ・全体の保険給付費はクラス5.3%の2,398億円増加し、高齢者拠出金はプラス7.3%の2,468億円増加で、特に後期高齢者支援金が9.6%の1,884億円と大幅に増加

このように、高齢者等拠出金の増加が大きく影響しています。

音羽健康保険組合

令和6年度の決算と今後の財政見通し

- ・令和6年度の保険料収入は前年に比べて約2,010万円増加して約20億2,535万円

- ・保険給付費は約 738 万円減少して約 7 億 7,415 万円
- ・高齢者医療制度への納付金は、前年比約 3 億 6,063 万円の大幅な増額で、約 12 億 980 万円
- ・経常収支は約 2 億 8,527 万円の赤字

令和 6 年度は 12 年ぶりの赤字決算となりました。支出の中で最も大きな影響を受けている高齢者納付金の額は、今後も高水準であることが予想され、厳しい財政状況が続くと思われます。

令和 6 年度の保健事業は、概ね計画した事業を行うことが出来ました。保険給付の被保険者一人当たりを金額にすると 28 万 7,498 円と昨年とほぼ同じで、高い水準となっています。今後どう推移していくのか注視しながら、今後の運営の参考にしていきたいと思います。

令和 7 年度の音羽健保の保険事業の基本方針

- 1、健康保険組合は社会保障制度の一翼を担うものであり、健康保険法の精神を遵守し諸規程・規約を定めて財政の健全化に務め、安定した運営を行なう。
- 2、健康保険組合は被保険者から保険料を徴収し、その保険料を基に給付や保健事業などを行うサポート機関であり、公正に各種事業を行なう。
- 3、被保険者の疾病予防と健康増進の面で、最大限の効果を上げる施策を導入する。
- 4、DX 化をさらに推進し、業務の効率化のさらなる向上と、被保険者などの利便性を充実させる。

保健事業については、保養所「那須新林荘」、契約施設「エクシブ」、「大腸がん検診」、「インフルエンザ予防接種補助」、「契約スポーツクラブ ティップネス」、「35 歳以上の被保険者の方の人間ドック・脳ドック受診補助」、「女性のがん検診に対する補助」など、多種多様な保健事業を行っていきます。

昨年から導入した健康管理アプリ「PEP UP」では、「ウォーキングキャンペーン」、「やることチャレンジ」、「体重測定チャレンジ」、「健診結果改善チャレンジ」など健康改善に役立つイベントも行っています。

音羽健康保険組合 令和 6 年度決算についての詳細

健康保険は、被保険者と事業主（会社）の皆様から納められた保険料を財源として、病気やけが等により思わぬ出費が発生した際に、給付をして支え合う制度です。

音羽健保の収入を支える保険料は、約 20 億 2,535 万円でした。前年度決算比で約 2,010 万円増加し、収入全体の 83%を占めています。保険料率は、前年度同様 7.5%に据え置きました。

しかし、被保険者・被扶養者の医療代の増加などが見込まれたことから、積立金より約 2 億 9,000 万円を繰り入れました。そのほか調整保険料収入等を加えた収入は、約 23 億 3,809 万円となりました。

人間ドックなどの保健事業

被保険者・被扶養者の皆様が病気やけが等で医療機関を受診した際、健保組合は窓口支払額（通常 7 割）を負担し、皆様の支払額（自己負担分）を軽減しています。このほか、入院や手術等で医療費が高額となった場合や、病気・けが・出産等で休職し給与を得られない場合にも給付を行っています。この費用を保険給付費といい、令和 6 年度では約 7 億 7,415 万円となり、前年度決算より約 738 万円減少しました。高齢者医療制度等にあてられた支援金・納付金は、約 12 億 980 万円で、前年度決算より約 3 億 6,063 万円と大幅な増加となりました。

このほか、特定健診や特定保健指導を始め、人間ドックや脳ドック、女性のがん検診、インフルエンザ予防接種への補助、直営保養所やスポーツクラブ利用補助など、皆様の健康を多岐にわたってサポートする保健事業費には、前年比で約 1,345 万円をプラスして約 2 億 3,807 万円をあてました。

以上により支出総額は、約 23 億 7,947 万円となりました。

結果とし*なり、この金額から繰入金等を除いた当年度の実質的な収支の経常収支は、約 2 億 8,527 万円の赤字を計上することになりました。

音羽健保の今後の見込み

今回の赤字の最大の理由は、高齢者医療制度等にあてられる支援金・納付金が、前年度より約 3 億 6,063 万円と大幅に増加したことです。この支援金・納付金は、今後も高額になることが予想されています。皆様におかれましては、こうした健保組合を取り巻く状況にご理解をいただき、健康維持に努めていただけますようお願い申し上げます。

本年度も健康診断の受診や、健保が導入した健康管理アプリ、各種保険事業の参加や利用などにより、健康にお過ごしいただけますと幸いです。

※介護保険は、国の収入業務を健康保険組合が代行する制度です。令和 6 年度は、約 5,057 万円の黒字決算となりました。

令和6年度に実施した主な保健事業

●特定健康診査事業、特定保健指導事業

事業名	事業の目的および概要	対象者	実施状況・時期
特定健診(被保険者)	【目的】健康状態の把握 【概要】事業主健診と併せて実施。任継被保険者のみ健保にて実施	任意継続被保険者	受診者数 51名
特定健診(被扶養者)	【目的】健康状態の把握 【概要】特定健康診査の実施。	被扶養者	受診者数 292名
特定保健指導	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施	被保険者 被扶養者 (各種基準該当者)	動機づけ支援 37名 積極的支援 27名

●保健指導宣伝

医療費通知	【目的】健康意識の醸成 【概要】医療費情報をWEBにて更新	被保険者 被扶養者	医療費情報を毎月更新 (健康管理アプリ「Pep Up」に掲載)
インセンティブ付与	【目的】健康意識の醸成 【概要】医療費情報をWEBにて更新	全員	付与ポイント 11,660,323 消費ポイント 5,437,621 (マイヘルスウェア消費ポイント 973,600)
医療費適正化	【目的】後発医薬品切替による医療費の適正化 【概要】ジェネリック医薬品差額通知(Pep Upより)	全員	「ジェネリック医薬品」の正しい知識をHP上で掲載

●疾病予防

大腸がん対策	【目的】大腸がんの早期発見 【概要】検体検査(10～11月)	被保険者	受診者数 506名
骨密度検査	【目的】骨粗しょう症の早期発見 【概要】事業主健診と併せ骨密度検査	被保険者	受診者数 440名
女性のがん検診	【目的】子宮がん・乳がんなど女性特有のがんの早期発見 【概要】年度内に1度、希望する女性の被保険者に対して100円未満を切捨てた金額を補助	被保険者	セット(乳がん+子宮) 52名 子宮がんのみ 8名 乳がんのみ 7名
脳ドック	【目的】脳疾患の早期発見 ・成人病予防 【概要】人間ドックと併せ脳ドック実施。上限40,000円まで補助	被保険者	受診者数 496名
人間ドック	【目的】病気の早期発見 【概要】希望する40歳以上被保険者に対して上限70,000円まで補助	被保険者	受診者数 674名
歯科健診	【目的】う歯予防・口腔ケア推進 【概要】無料の歯科健診・歯科相談。被保険者は事業所別に巡回方式で実施。被扶養者はリストから好きな歯科をピックアップして受診。	被保険者 被扶養者	受診者数 845名
家庭常備薬	【目的】常備薬の設置による、軽症での受診を抑制 【概要】家庭用救急常備薬の斡旋	被保険者	利用者数 1,657名
インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザ予防 【概要】インフルエンザ予防接種補助	被保険者 被扶養者	利用者数 1,245名
電話による健康・医療相談	【目的】健康相談・急な病気への対応 【概要】専門職による電話健康相談窓口の設置	被保険者 被扶養者	相談件数 28件
メンタルヘルス事業	【目的】健康相談・急な病気への対応 【概要】専門職による電話健康相談窓口「心の相談室」の設置	被保険者 被扶養者	相談件数 17件
ウイルス性肝炎	【目的】肝疾患の早期発見 【概要】入社時健診未受診者を対象としたB型肝炎およびC型肝炎の検査	被保険者	受診者数 51名

●体育奨励

スポーツクラブ	【目的】健康・体力づくり 【概要】スポーツ施設の利用補助	被保険者 16歳以上の被扶養者	利用回数 5,544名
---------	---------------------------------	--------------------	-------------

●保養関係

直営保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】直営保養所の運営	被保険者 被扶養者	利用者数 1,762名
旅行補助	【目的】リフレッシュ 【概要】保養施設の利用補助	被保険者	利用泊数 2,607泊 利用者数 1,085名
会員制保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】会員制リゾート(リゾートトラスト)と契約	被保険者 被扶養者	利用泊数 451泊 利用者数 1,402名